安全上のご注意

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。PRIMERGY に関するお問い合わせについては、本書裏面の『サポート＆サービス』をご覧ください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

設置について

⚠警告

床の強度が弱い場所に設置しないでください。
床が抜けるおそれがあります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に設置しないでください。
故障・火災・感電の原因となります。

水のかかる場所に設置しないでください。
故障・火災・感電の原因となります。

地震発生時の転倒防止のために、ラックシステムの設計の際には必ず装置／ラックの固定などの耐震対策を行う必要がありますので、担当営業員にご相談ください。
本製品（ラックシステムを含む）は、250gal（震度 5 強相当）以下の振動では問題なく動作するように設計されています。

⚠注意

次の条件を守って設置してください。

項目	設置条件	
	動作時	休止時
温度	10 ～ 35 ℃	-5 ～ 55 ℃
湿度	20 ～ 80%RH（結露しないこと）	
温度勾配	15 ℃ /hr 以下（結露しないこと）	
浮遊塵埃	$0.15mg/m^3$ 以下	

周囲温度が 10 ～ 35 ℃の環境を守ってご利用ください。
温度条件が守られないと、電子部品の誤動作や故障、寿命の短縮の原因となります。
直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなどを避けて設置してください。また空調のスケジュールなどを充分に考慮し（夜間や休日など）、温度条件を外れた環境で運用されることのないようにしてください。

冬場など寒中での暖房時は、1 時間あたりの温度上昇が 15 ℃を超さないように室温調整を行い、結露を発生させないようにしてください。
結露の発生に関しては、次の表を参考にしてください。

		室内温度（℃）							備考
		10	15	20	25	30	35	40	
相対湿度（%）	20	-7	-5	-3	1	5	9	13	例：温度 25 ℃で湿度60%の場合、装置が 17 ℃以下のとき、結露します。
	40	-3	2	7	11	16	20	24	
	60	3	8	13	17	22	26	31	
	80	7	12	17	22	26	31	―	
	90	9	13	19	24	29	34	―	

電源ケーブルおよび各種ケーブル類に足がひっかかる場所には設置しないでください。
故障の原因となります。

テレビやスピーカの近くなど、強い磁界が発生する場所には設置しないでください。
故障の原因となります。

空気の吸排気口をふさがないでください。
本製品の吸排気口は壁から 20cm 以上離して設置してください。これらをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

腐食性ガスが発生する地域や塩害地域では使用しないでください。
故障の原因となります。
腐食性ガスや塩風は、装置を腐食させ、誤動作、破損および、装置寿命を著しく短くする原因となりますので、空気清浄装置を設置するなどの対策が必要となります。また、塵埃が多い場所についても、記憶媒体の破損、冷却の妨げなどにより、誤動作や寿命短縮の原因となります。

- 腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉／火山地帯などがあります。
- 塩害地域の目安としては、海岸線から 500m 以内となります。

本製品の上に重い物を置かないでください。また、本製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。また、本製品が故障したり誤動作する場合があります。

本製品は、水平で安定した場所、および大きな振動の発生しない場所に設置してください。
振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所は、落ちたり倒れたりしてけがの原因になりますので、設置しないでください。また、危険防止のため通路の近くには、設置しないでください。通路の近くに設置すると、人の歩行などで発生する振動によって本製品が故障したり誤動作する場合があります。

本製品を移動するときは、必ず電源を切り、ケーブル類／マウス／キーボード／電源ケーブルを外してください。

本製品を持ち運ぶときは、下記の点に注意して作業を行ってください。

本製品の質量	作業員の数
18kg 以上	2 人以上
36kg 以上	3 人以上
54kg 以上	4 人以上

また、ドライブカバーがある場合は、ドライブカバーを持たないでください。
ドライブカバーが外れ、本製品が脱落したりしてけがおよび故障の原因となります。

フットスタンドがある場合は、必ずそれを使用してください。
振動による転倒でけがをするおそれがあります。

電源・電圧・接続について

⚠ 警告

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。

電源ケーブルや電源プラグが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源ケーブルを折り曲げるなどして束ねた状態で使用しないでください。
ケーブルは伸ばして使用してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

本製品にサービスコンセントがある場合は、マニュアルに記載されていない装置をサービスコンセントに接続しないでください。
火災・けがの原因となります。

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。

電源プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

アース接続が必要な装置は、電源を入れる前に、必ずアース接続をしてください。
アース接続ができない場合は、担当営業員にご相談ください。
万一漏電した場合、火災・感電の原因となります。

近くで雷が発生したときは、電源ケーブルやモジュラーケーブルをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、雷によっては本製品を破壊し、火災の原因となります。

本製品を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルなども外してください。
作業は足元に充分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となったり、本製品が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。

長時間装置を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となります。

万一、異常が発生したとき

⚠ 警告

万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本製品の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後修理相談窓口に連絡してください。
お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）が本製品の内部に入った場合は、ただちに本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理相談窓口に連絡してください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本製品の取り扱いについて

⚠ 警告

本製品を勝手に改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

本製品のカバーや差し込み口に付いているカバーは、オプション装置の取り付けなど、必要な場合を除いて取り外さないでください。
内部の点検、修理は修理相談窓口にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

本製品のカバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。また、作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。
お子様が手を触れると、本製品および本製品内部の突起物でけがをしたり、故障の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

ディスプレイに何も表示されないなど、故障状態で使用しないでください。故障の修理は修理相談窓口にご依頼ください。修理相談窓口については、本紙裏面の『サポート＆サービス』をご覧ください。
そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。

開口部（通風孔など）から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
故障・火災・感電の原因となります。

本製品の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器、金属物を置かないでください。
故障・火災・感電の原因となります。

清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含む物）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

周囲で殺虫剤などを使って害虫駆除を行う場合には、本製品を停止し、ビニールなどで保護してください。

本製品に水をかけないでください。
故障・火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

本製品の開口部（通風孔など）をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

本製品の上に重い物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。

フロッピーディスクドライブ、CD/DVD ドライブなどの差し込み口に指などを入れないでください。
けがの原因となります。

オプションの取り扱いについて

⚠ 警告

感電

オプション装置の取り付けや取り外しを行う場合は、本製品および接続されている装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因となります。

弊社推奨品以外の装置は接続しないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

高機能無停電電源装置（UPS）など、重量のある装置を動かす場合は、必ず 2 人以上で行ってください。
けがの原因となります。

レーザの安全性について（CD/DVD ドライブ搭載機種のみ）

クラス 1 レーザ製品

本製品には、クラス 1 レーザ製品が含まれており、クラス 1 レーザ製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter J に準拠しています。
また、クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠ 警告

視力障害

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。
CD/DVD ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線を覗きこまないでください。
レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。
お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

電池の取り扱いについて

⚠ 注意

使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

マニュアルに記載されていない電池を使用しないでください。
また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因となります。
製造者の指示に従って、使用済み電池を廃棄してください。

電池はショートしたり、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因となります。

電池を取り付ける場合、極性のプラス（＋）とマイナス（－）の向きに注意してください。
間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因となります。

その他

⚠ 注意

携帯電話などを本製品に近づけて使用しないでください。
本製品が正しく動かなくなるおそれがあります。

健康のため、1 時間ごとに 10 ～ 15 分の休憩をとり、目および手を休めてください。

サポート＆サービス

PRIMERGY 関連情報の提供

「PRIMERGY」ページ(http://primeserver.fujitsu.com/primergy/) ではPRIMERGYに関するさまざまな情報を提供しています。

製品・サービスに関するお問い合わせ窓口

製品の使用方法や技術的なお問い合わせ、ご相談については、製品をご購入された販売会社、または弊社担当営業員にご連絡ください。PRIMERGYに関するお問い合わせ先がご不明なときやお困りのときには、「富士通コンタクトライン」にご相談ください。

富士通コンタクトライン

電話：0120-933-200（通話料無料）
受付時間：月曜日～金曜日　9:00 ～ 17:30
（祝日および 12 月 30 日～ 1 月 3 日を除く）
※「富士通コンタクトライン」では、お問い合わせ内容の正確な把握、およびお客様サービス向上のため、お客様との会話を記録・録音させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

Web 受付：PRIMERGY に関するお問い合わせ
http://primeserver.fujitsu.com/primergy/contact/

SupportDesk について（有償）

システムの安定稼働に向け、保守・運用支援サービス「SupportDesk」のご契約をお勧めします。ご契約いただくことにより、ハードウェア障害時の当日訪問修理対応、定期点検、障害予兆／異常情報のリモート通報、電話によるハードウェア／ソフトウェアの問題解決支援、お客様専用ホームページでの運用支援情報提供などのサービスが利用できます。詳しくは、「SupportDesk 紹介ページ」(http://segroup.fujitsu.com/fs/) をご覧ください。

最新修正モジュールの適用について

各種ドライバや BIOS、ファームウェア、高信頼ツールなどの修正モジュールを、「PRIMERGY」ページの「ダウンロード」(http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/) にて提供しております。システム安定稼働のため、常に最新の修正モジュールを適用して運用されることをお勧めします。
Windows をご使用の場合、「UpdateAdvisor（本体装置）」をお使いになりますと各種ドライバや高信頼ツールの最新の修正モジュールを簡単に適用することができます。詳しくは『ソフトウェアガイド』をご覧ください。
Linux をご使用の場合、UpdateSite（「SupportDesk」ご契約のお客様向け）にて、Linux OS およびソフトウェアの修正情報を提供しております。ご利用いただくときには、「SupportDesk」の「ご利用者 ID」が必要です。

保証について

本製品の詳しい保証内容については、添付の『PRIMERGY 保証書』をご覧ください。

消耗品と定期交換部品について

お客様の使用環境や使用時間により、保守サポート期間内に交換が必要になる消耗品と定期交換部品があります。本製品の『ユーザーズガイド』および各ハードウェアのマニュアルをご覧になり、内容をご確認ください。

修理ご依頼の前に

本製品に異常が発生した場合は、本製品の『ユーザーズガイド』の「トラブルシューティング」をご覧になり、内容をご確認ください。それでも解決できない場合は、担当営業員または修理相談窓口にご連絡ください。ご連絡される場合は、あらかじめ『環境設定シート』の各設定シート、および「障害連絡シート」を出力して、必要事項をご記入ください。なお、型名と製造番号は、本製品に格納されている「システム ID カード」をご確認ください。「システム ID カード」の格納位置は、本製品の『ユーザーズガイド』および各ハードウェアのマニュアルの「各部の名称と働き」をご覧ください。
本製品の交換が必要になる場合がありますので、最新の BIOS 設定情報を記録しておいてください。詳しくは本製品の『ユーザーズガイド』をご覧ください。

修理相談窓口

次のお客様で修理が必要な場合は「富士通ハードウェア修理相談センター」へお問い合わせください。それ以外のサポートサービスをご契約のお客様はそれぞれのサポート窓口へお問い合わせください。

・SupportDesk パック Lite ご契約のお客様
・サポートサービス未契約のお客様（保証期間内）
・サポートサービス未契約のお客様（保証期間外）〔注〕

富士通ハードウェア修理相談センター

電話：0120-422-297（通話料無料）
受付時間：月曜日～金曜日　9:00 ～ 17:00
（祝日および 12 月 30 日～ 1 月 3 日を除く）
※「富士通ハードウェア修理相談センター」では、お問い合わせ内容の正確な把握、およびお客様サービス向上のため、お客様との会話を記録・録音させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

Web 受付：法人向けハードウェア修理相談センター
https://eservice.fujitsu.com/webrepair/

注：サービスの対象製品／作業時間に応じ、技術料／部品代／交通費などのサービス料金をご依頼のつど申し受けます。

リサイクルについて

本製品を廃棄する場合、弊社担当営業員に相談してください。本製品は産業廃棄物として処理する必要があります。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。